

福井県あわら市北潟方言及び清滝方言のアクセント資料

松倉 昂平

キーワード: N型アクセント 3型アクセント 2型アクセント 三国式
福井県あわら市方言 北潟方言 アクセント資料

要旨

松倉 (2014) において、福井県あわら市はほぼ全域が明瞭なN型アクセントの分布域であることを報告し、北部に分布する3種の三型体系と南部を中心に広く分布する二型体系(三国式アクセント)の概要を示した。本稿では、同論文の裏付けとして、同市北部の三型方言と南部の二型方言それぞれにおける調査項目の所属型をアクセント資料としてまとめる。

1. はじめに ——あわら市方言の概況——

福井県あわら市は福井県の最北端に位置する、面積117km²・人口29,300人(2015年4月1日現在)の市である。地形上、丘陵地の北部と福井平野の北端にかかる南部に大きく二分され、また方言上も、同市の北に隣接する石川県加賀市方言の影響を受ける北部と、福井平野方面からの影響の方が強い南部に大きく二分できる。音調体系上は、三型アクセントが分布する北西部(北潟湖周辺)と、二型アクセントのその他地域に分けられる(松倉 2014)。なお、地元の人々による市内の方言差の指摘にも、主に加賀方言からの影響の程度と音調体系の違いの2点が反映されているとみられ、その方言区分意識が概ね実態に沿うことは筆者による調査でも確かめられている。

同市において優勢な方言は、人口の多い南部を中心に分布する二型(三国式)アクセント方言である¹。一方同市北西部の一部地域に分布する三型アクセント方言は、市内において話者数で言えば少数派であるが、主流方言との違いが特に耳立つためその存在感は大きい。本稿では、あわら市方言を大きく南部の二型方言と北西部の三型方言に二分し、三型方言として北潟方言を、二型方言として清滝方言を取り上げ、約1,570語の調査項目の各方言における所属型を示す。あわら市方言のN型諸体系について、松倉(2014)で行った音調型の対照に続き、本稿では各型の所属語彙の対照を行う。本稿の構成は次の通り:2節で調査地点の概要を、3節で調査方法を示し、4-6節で各方言の音調体系の概要を解説する。7節に巻末資料の注記をまとめる。

¹二型自体は北部にかけても分布するが音調体系以外の面で南部とは方言差が認められる。なお、対立が明瞭な二型が確認されるのは高年層話者においてであり、中年層以下の世代では福井市方言など無型方言の影響で曖昧化・無型化が進んでいるとみられる。本稿では高年層話者により話される伝統的な方言のみを扱う。

2. 調査地点の概要

あわら市北潟は、北潟湖の北岸沿いに細長く伸びる人口約1,200人の地区である。日本海と北潟湖に挟まれた丘陵地にあり周辺には森林や畑地が広がる。あわら市役所から北へ約7km、石川県境まで約5kmの距離にある。三型諸方言の中でも北潟方言は表面上のピッチパターンが主流の二型方言とは特に大きく異なるため、同地区の方言は独特であるという認識が市内外で共有されている。

あわら市清滝は、同市南東部の山沿いに位置する人口約120人の地区である。周囲を緩やかな山地に囲まれ、谷あいの平地には水田が広がる。周辺には同規模の集落が散在し、地理的には全く開放的な地域である。あわら市役所から東南東へ約6km、北潟地区からは南東へ約13kmの距離にある。本地区の方言の印象について、地区内外の話者からは、周辺方言と大きく異なることはなく福井平野北部の主流方言とほぼ変わらないという認識を持たれるようである。筆者による調査を通じて、少なくともあわら市南東部一带に本地区のものとほぼ等質の二型体系が広く分布することが確認されており、本方言の音調体系はあわら市南部の主流方言の二型体系の典型例として示せるものとする。



図1 北潟地区と清滝地区の位置

あわら市清滝は、同市南東部の山沿いに位置する人口約120人の地区である。周囲を緩やかな山地に囲まれ、谷あいの平地には水田が広がる。周辺には同規模の集落が散在し、地理的には全く開放的な地域である。あわら市役所から東南東へ約6km、北潟地区からは南東へ約13kmの距離にある。本地区の方言の印象について、地区内外の話者からは、周辺方言と大きく異なることはなく福井平野北部の主流方言とほぼ変わらないという認識を持たれるようである。筆者による調査を通じて、少なくともあわら市南東部一带に本地区のものとほぼ等質の二型体系が広く分布することが確認されており、本方言の音調体系はあわら市南部の主流方言の二型体系の典型例として示せるものとする。

3. 調査方法

2013年7月から2014年12月にかけて、話者と直接面談し調査票を読み上げて頂く調査を実施した。1回あたりの調査時間は2時間ほど、訪問回数は北潟地区が主な話者3名に対し計9回、清滝地区が主な話者1名に対し3回である。本稿に関わる調査協力者は北潟地区が1930年生男性、1930年生女性、1953年生女性の3名、清滝地区が1937年生男性の1名で、全員各地区生まれ育ちの話者である。なお2015年4月に一部の調査不十分な項目について電話での確認を行った。

4. 北潟方言の音調型

北潟方言における3つの型の単独言い切り環境での音調を表1に挙げる。3つの型に割り振る呼称は新田哲夫(2012)による福井県越前町小樟方言の三型アクセントの報告に倣いA, B, Cとする。なお語や文節の音調上の長さを数える単位は原則としてモーラである²。

² ただし4モーラ以上の語で末位モーラが特殊モーラである場合、末位の重音節を1単位に数える。例えば、[エブ]ロン(A)、ザブ[トン](B)。

表 1 北潟方言の単独言い切り形の音調

	1 拍	2 拍	3 拍	4 拍	5 拍
A	[蚊]]。	[ハ]コ。	[クル]マ。	[カミナ]リ。	[カイバシ]ラ。
B	[[葉。	ヤ[マ。	ナミ[ダ。	アサガ[オ。	アキマツ[リ。
C	[芽。	[マド。	[タマゴ。	[アマザケ。	[ノドボトケ。

各型はピッチの下降の有無と上昇の位置によって対立する。A型は末位拍にかけて下降が生じ、逆にB型は上昇が生じる音調である。C型は文節末（語末）まで大きな下降も上昇も生じない平板調となる。なおB型の音声的変異として、上昇の遅れ（ヤ[[マ、ナミ[[ダ）と1,2拍目の「隆起」（[ナ]ミ[ダ、[ア]サガ[オ～ア[サ]ガ[オ）が生じることがある。

5. 清滝方言の音調型

アクセント単位の末位拍の直前にピッチの下降を生じる型と末位拍まで下降が生じない型の2つを区別する二型アクセント体系である。以下、下降が生じる型をA型、生じない型をB型と呼称する。なお語や文節の音調上の長さを数える単位はモーラである。

表 2 清滝方言の単独言い切り形の音調

	1 拍	2 拍	3 拍	4 拍	5 拍
A	[蚊]]。	[ハ]コ。	ク[ル]マ。	カ[ミナ]リ。	カ[イバシ]ラ。
B	[葉。	ヤ[マ。	ナ[ミ]ダ。	ア[サガ]オ。	ア[キマツ]リ。

連文節の実現について特記すべきは、ある文節が他の文節に後続するときは原則として前の文節に低く付くという性質である³。

(4) 2拍文節+2拍文節の実現型

	+2A	+2B
2A+	a+a: [芽]ガ-デ]ル	a+b: [芽]ガ-デ]タ
2B+	b+a: 葉[ガ]-デ]ル	b+b: 葉[ガ]-デ]タ

(5) B型+2,3拍文節の実現型

b+a: ア[オイ]ハ]コ。	b+a: 見[タ]サク]ラ。
b+b: ア[オイ]ヤマ]。	b+b: 見[タ]ヤナ]ギ。

³ 一つのアクセント単位が複数文節に拡張した場合を除く。例えば、「気になる」は全体が音調上1単位（A型）にまとまるため、キ[ニナ]ルとなる。

6. 北潟・清滝両方言の音調体系の特徴

6.1 名詞の類別体系

いわゆる金田一語彙（金田一春彦 1974）の調査に基づき (6) (7) に北潟・清滝両方言の 1~3 拍名詞の類別体系を示す。なお本稿では国語学会編（1980, pp.8-9）で立てられた 3 拍 3 類（二十歳類）を認める。

(6) 北潟方言の名詞の類別体系

1 拍名詞：1 類=A / 2 類=B / 3 類=C

2 拍名詞：1 類=A / 2・3 類=B / 4・5 類=C

3 拍名詞：1・4 類=A / 3・5 類=B / 6・7 類=C（2 類はまとまりを欠く）

(7) 清滝方言の名詞の類別体系

1 拍名詞：1・3 類=A / 2 類=B

2 拍名詞：1・4・5 類=A / 2・3 類=B

3 拍名詞：1・2・4・6・7 類=A / 3・5 類=B

(6) (7) より、北潟方言の A, C 型が清滝方言の A 型に二対一対応することがわかる。B 型の所属語類は両方言で一致する。用言の類別体系については次節や資料編を参照されたい。

6.2 動詞の活用形の音調

あわら市のN型諸体系では動詞の活用形の音調が語幹ごとに一貫しない場合が多い。北潟・清滝両方言の2~4拍動詞の3つの活用形（終止形、否定形（～ン）、タ形（～タ））の音調を示す。

表 3 北潟／清滝両方言の動詞活用形の音調

動詞の類	語例	終止	否定	タ形
2拍一段1類	着る	A/A	A/A	B/B
2拍一段2類	見る	C/A	C/A	
2拍五段1類	置く	A/A	A/A	B/B
2拍五段2類	書く	C/A	B/B	C/A
3拍一段1類	上げる	A/A	A/A	B/B
3拍一段2類	逃げる	B/B	B/B	C/A
3拍五段1類	上がる	A/A	B/A	A/A
3拍五段2類	下がる	B/B	B/B	B/B
3拍五段3類	歩く	C/A	B/A	C/A
4拍一段1類	並べる	A/A	B/A	A/A
4拍一段2類	集める	B/B	B/B	B/B
4拍一段3類	隠れる	C/A	B/A	C/A

ほとんどの語類・活用形で名詞と同様の規則的な対応を示すものの、4拍以上の否定形の音調に相違がみられる。北潟方言では語によらずB型に統一される一方、清滝方言では終止形やタ形の音調と一致し語幹ごとに活用形の音調が一貫する。

7. 資料編について

巻末の資料編では、金田一語彙から選んだ語を中心とする約1,570語の所属型を一覧する。そのほとんどは和語または古い漢語であり、全国の方言間で音調型が規則的に対応することが期待される語彙である。実際、北潟・清滝両方言のデータを対照すると、2,3拍名詞の場合約9割の語彙の音調型が規則的な対応を示している。今後、この2方言にとどまらずより多くの周辺諸方言を対象に基礎語彙の所属型の対照が行われることで、音調諸体系の系統関係を論じるにあたっての一定の論拠が提供されることが期待される。

資料編の注記事項

- 類似の意味・音形の方言語形がある場合でも、本稿には共通語形の音調型を載せる。
- 各項目の所属語類は金田一 (1974) に従う。ただし 3 拍名詞 3 類の所属語彙については国語学会編 (1980) を参照した。
- 北潟方言のデータのうち、1-4 拍名詞は 1930 年生女性、4 拍名詞の一部、5 拍名詞、動詞・形容詞は 1930 年生男性からの調査結果に基づく。
- 清滝方言においては、3 拍一段動詞の音調が、何らかの類推変化を受ける過渡期にあたるのか、非常に不安定な状態にあり、各活用形の音調が定まらない語が多い。そのため所属型が確定できた語が少ない。

資料編の凡例

- "x, y" は「x 型と y 型を併用する」ことを表す。併用表記がない語についても調査時に併用の事実を確認できなかっただけで実際は併用型を持つ可能性はある。
- "-" は調査漏れや調査不十分のため所属型が未確定であることを表す。
- 動詞・形容詞は基本的に終止形の音調を挙げる。ただし"x-y" は「終止形が x 型、タ形が y 型である」ことを表す。

謝辞

長期間・長時間に及ぶ調査に快くご協力くださった話者の皆様に厚く御礼申し上げます。なお本研究に係る調査は国語研プロジェクト「日本語レキシコンの音韻特性」及び科学研究費補助金基盤研究 C (26370475) より旅費の補助を受けている。

参考文献

- 金田一春彦 (1974) 『国語アクセントの史的研究 原理と方法』 塙書房。
国語学会編 (1980) 『国語学大辞典』 東京堂出版。
新田哲夫 (2012) 「福井県越前町小樟方言のアクセント」 『音声研究』 16 (1), 63-79。
松倉昂平 (2014) 「福井県あわら市のアクセント分布」 『東京大学言語学論集』 35, 141-154。

資料編 (1,2 拍名詞)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
1	柄	え	a	a	1	灰汁	あく	a	a	1	里	さと	a	a
1	緒	えお	a	a	1	姉	あね	a	a	1	鯖	さば	a	a
1	蚊	おか	a	a	1	飴	あめ	a	a	1	鮫	さめ	b	b
1	子	こち	a	a	1	蟻	あり	a	a	1	皿	さら	a	a
1	血	ちと	a	a	1	鳥賊	いか	a	a	1	品	しな	a	a
1	戸	とほう	a	a	1	魚	うお	a	a	1	芝	しば	a	b
1	帆	ほう	c	a	1	牛	うし	a	a	1	城	しろ	a	a
2	鵜	うな	b	b	1	梅	うめ	a	a	1	皺	しわ	b	b
2	名	な	b	b	1	枝	えだ	a	a	1	末	すえ	a	a
2	葉	は	b	b	1	海老	えび	a	a	1	鋤	すき	a	a
2	日	ひ	b	b	1	甥	おい	a	b*	1	杉	すぎ	a	a
2	藻	も	c	b	1	丘	おか	a,b	a	1	鈴	すず	b	b
2	矢	や	c,b	a	1	甲斐	かい	a	a	1	裾	すそ	a	a
3	絵	え	c	a	1	顔	かお	a	a	1	底	そこ	a	a
3	木	き	c	a	1	柿	かき	a	a	1	袖	そで	a	a
3	粉	こな	c	a	1	箆	かご	a	a	1	鷹	たか	b	a
3	酢	す	c	a	1	風	かぜ	a	a	1	滝	たき	a	a
3	田	た	c	a	1	蟹	かに	a	a	1	竹	たけ	a	a
3	手	て	c	a	1	金	かね	a	a	1	辰	たつ	c	a
3	荷	に	c	a	1	鐘	かね	a	-	1	棚	たな	a	a
3	根	ね	c	a	1	株	かぶ	a	a	1	誰	だれ	a	a
3	野	の	c	a	1	壁	かべ	a	a	1	塵	ちり	a	b
3	火	ひ	c	a	1	釜	かま	a	a	1	筒	つつ	c	a
3	屁	へ	c	a	1	蚊帳	かや	a	a	1	壺	つぼ	a	a
3	穂	ほ	c	a	1	粥	かゆ	c	a	1	爪	つめ	a	a
3	目	め	c	a	1	雉	きじ	a	a	1	艶	つや	b	b
3	芽	め	c	a	1	傷	きず	a	a	1	釣 ^り	つり	a	a
3	湯	ゆ	c	a	1	桐	きり	a	a	1	何 ^処	どこ	a	b
3	輪	わ	c	a	1	霧	きり	a	a	1	友	とも	b	a
3	胃	わ	a	a	1	釘	くぎ	a	a	1	虎	とら	a	a
	蛾	が	a	a	1	口	くち	a	a	1	鳥	とり	a	a
	気	ぎ	a	a	1	国	くに	a	b	1	西	にし	a	a
	毛	け	b	b	1	首	くび	a	a	1	庭	にわ	a	a
	字	じ	c	a	1	鍛	くわ	a	a	1	布	ぬの	a	a
	巢	す	a	a	1	腰	こし	a	a	1	灰	はい	a	a
	凶	ず	c	a	1	駒	こま	c	a	1	蠅	はえ	a	a
	背	せ	c	b	1	此 ^れ	これ	b	b	1	箱	はこ	a	a
	地	ち	c	b	1	先	さき	a	a	1	端	はし	a	a
	齒	は	b	b	1	鷺	さぎ	b	b	1	蓮	はす	a	a
	間	ま	a	a	1	酒	さけ	a	a	1	蜂	はち	a	a
	実	み	a	a	1	笹	ささ	a	a	1	鼻	はな	a	a

* 甥 b ok. cf. 姪 b

資料編 (2 拍名詞続き)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
1	羽	はね	a	a	2	川	かわ	b	b	3	芋	いも	b	b
1	稗	ひえ	a	a	2	北	きた	b	b	3	色	いろ	b	b
1	髭	ひげ	a	a	2	牙	きば	b	a	3	蛆	うじ	b	b
1	膝	ひざ	a	a	2	杭	くい	b	b	3	腕	うで	b	a
1	暇	ひま	a	a	2	串	くし	b	b	3	畝	うね	b	b
1	紐	ひも	a	a	2	下	しも	b	b	3	馬	うま	b	b
1	鱧	ひれ	b	a	2	蟬	せみ	b	b	3	膿	うみ	b	a
1	笛	ふえ	a	a	2	旅	たび	b	a	3	裏	うら	b	b
1	藤	ふじ	a	a	2	為	ため	b	a	3	鬼	おに	b	b
1	蓋	ふた	a	a	2	塚	つか	b	b	3	親	おや	b	b
1	札	ふだ	a	a	2	次	つぎ	b	b	3	貝	かい	b	b
1	筆	ふで	a	a	2	薦	つた	b	b	3	鍵	かぎ	b	b
1	臍	へそ	a	a	2	妻	つま	b	b	3	型	かた	b	b
1	星	ほし	a	b	2	弦	つる	b	b	3	神	かみ	b	a
1	的	まと	b	a	2	梨	なし	b	b	3	髪	かみ	b	b
1	真似	まね	b	b	2	夏	なつ	b	b	3	甕	かめ	b	b
1	右	みぎ	a	a	2	虹	にじ	b	b	3	皮	かわ	b	b
1	水道	みず	a	a	2	橋	はし	b	b	3	菊	きく	b	b
1	峰	みち	a	a	2	旗	はた	b	b	3	岸	きし	a	b
1	宮	みや	a	-	2	肘	ひじ	b	b	3	肝	きも	a	b
1	虫	むし	c	a	2	人	ひと	b	b	3	茎	くき	a,b	a
1	棟	むね	a	a	2	姫	ひめ	b	a	3	草	くさ	b	b
1	榎	むね	a	a	2	昼	ひる	b	a	3	櫛	くし	b	b
1	粃	もみ	a	a	2	文	ふみ	b	b	3	靴	くつ	b	b
1	桃	もも	a	a	2	冬	ふゆ	b	b	3	熊	くま	b	b
1	森	もり	a	b	2	町	まち	b	b	3	雲	くも	b	b
1	藪	やぶ	a	a	2	胸	むね	b	b	3	蔵	くら	b	b
1	槍	やり	a	a	2	村	むら	b	b	3	栗	くり	b	b
1	床	ゆか	b	a	2	雪	ゆき	b	b	3	桑	くわ	b	b
1	横	よこ	a	a	2	余所	よそ	b	b	3	恋	こい	a	a
1	嫁	よめ	a	a	2	技	わざ	b	b	3	苔	こけ	b	b
2	痣	あざ	b	b	3	垢	あか	b	b	3	事	こと	b	b
2	鯨	あじ	b	b	3	麻	あさ	b	a	3	米	こめ	b	b
2	毬	いが	c	a	3	足	あし	b	b	3	竿	さお	b	b
2	石	いし	b	b	3	明日	あす	b	a	3	坂	さか	b	b
2	岩	いわ	b	b	3	穴	あな	b	b	3	錆	さび	a	b
2	歌	うた	b	b	3	網	あみ	b	b	3	塩	しお	b	b
2	音	おと	b	b	3	泡	あわ	b	b	3	舌	した	b	a
2	垣	かき	b	b	3	家	いえ	b	b	3	島	しま	b	b
2	紙	かみ	b	b	3	池	いけ	b	b	3	霜	しも	b	b
2	殻	から	c	b	3	犬	いぬ	b	b	3	尻	しり	b	b

資料編 (2 拍名詞続き)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
3	鯨	すし	b	b	3	物	もの	b	b	4	空	そら	c	a
3	脛	すね	b	b	3	山	やま	b	b	4	種	たね	c	a
3	炭	すみ	b	b	3	闇	やみ	b	b	4	乳	ちち	c	a
3	芹	せり	b	b	3	指	ゆび	b	b	4	杖	つえ	c	a
3	鯛	たい	b	b	3	弓	ゆみ	b	b	4	槌	つち	c	b
3	丈	たけ	b	b	3	夢	ゆめ	b	b	4	粒	つぶ	c	a
3	谷	たに	b	b	3	脇	わき	b	b	4	罪	つみ	c	a
3	玉	たま	b	b	3	杵	わく	b	b	4	苗	なえ	c	a
3	月	つき	b	b	3	綿	わた	b	b	4	中	なか	c	a
3	土	つち	b	b	4	跡	あと	c	a	4	何	なに	c	-
3	綱	つな	b	b	4	尼	あま	c	a	4	鑿	のみ	c	a
3	角	つの	b	b	4	粟	あわ	c	a,b	4	箸	はし	c	a
3	弟子	でし	b	a	4	板	いた	c	a	4	肌	はだ	b	b
3	時	とき	b	b	4	糸	いと	c	a	4	針	はり	c	a
3	年	とし	b	b	4	稲	いね	c	a	4	船	ふね	c	a
3	波	なみ	b	b	4	白	うす	c	a	4	紅	べに	c	b
3	縄	なわ	b	b	4	海	うみ	c	a	4	籠	へら	c	a
3	糠	ぬか	b	b	4	瓜	うり	c	a	4	他	ほか	c	a
3	熨斗	のし	b	b	4	帯	おび	c	a	4	松	まつ	c	a
3	蚤	のみ	b	b	4	襦	かい	c	b	4	味噌	みそ	c	a
3	海苔	のり	b	b	4	笠	かさ	c	a	4	蓑	みの	c	a
3	墓	はか	b	b	4	粕	かす	c	a	4	麦	むぎ	c	a
3	萩	はぎ	b	a	4	数	かず	c	a	4	宿	やど	c	a
3	刷毛	はけ	b	b	4	肩	かた	c	a	4	畏	わな	c	a
3	鉢	はち	b	b	4	角	かど	c	a	4	藁	わら	c	a
3	花	はな	b	b	4	鎌	かま	c	a	5	藍	あい	c	a
3	浜	はま	b	b	4	上	かみ	c	a	5	青	あお	a	a
3	腹	はら	b	b	4	絹	きぬ	c	a	5	赤	あか	a	a
3	輝	ひび	a	b	4	杵	きね	c	a	5	秋	あき	c	a
3	房	ふさ	b	b	4	錐	きり	c	a	5	朝	あさ	c	a
3	節	ふし	b	b	4	屑	くず	c	a	5	汗	あせ	c	a
3	縁	ふち	b	b	4	管	くだ	c	a	5	兄	あに	a	a
3	堀	ほり	b	b	4	今朝	けさ	c	a	5	虻	あぶ	c	a
3	幕	まく	b	b	4	下駄	げた	c	a	5	雨	あめ	c	a
3	孫	まご	b	b	4	鞆	さや	c	a	5	鮎	あゆ	c	a
3	枡	ます	b	b	4	汗	しる	c	a	5	井戸	いど	a	a
3	股	また	b	b	4	筋	すじ	c	a	5	桶	おけ	c	a
3	豆	まめ	b	b	4	隅	すみ	c	a	5	牡蠣	かき	a	a
3	店	みせ	b	b	4	錢	ぜに	c	a	5	陰	かげ	c	a
3	耳	みみ	b	b	4	外	そと	c	a	5	黍	きび	c	a
3	姪	めい	a*	b	4	側	そば	c	a	5	蜘蛛	くも	b	a

* 姪 a ok. cf. 甥 a

資料編 (2 拍名詞続き・3 拍名詞)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
5	黒	くろ	a	a		金	きん	b	b		餅	もち	a	a
5	鯉	こい	c	a		銀	ぎん	b	b		靄	もや	b	b
5	声	こえ	c	a		愚痴	ぐち	a	a		門	もん	b	b
5	琴	こと	a	a		芸	げい	a	a		厄	やく	b	b
5	鮭	さけ	c	a		此処	ここ	c	a		屋根	やね	c	a
5	猿	さる	c	a		胡麻	ごま	a	a		百合	ゆり	a	a
5	白	しろ	a	a		柵	さく	b	b		用	よう	b	b
5	縦	たて	c	a		下	した	a	a		欲	よく	b	b
5	足袋	たび	c	a		質	しつ	a	a		夜	よる	c	a
5	常	つね	a	a		邪魔	じゃま	a	a		楽	らく	b	b
5	露	つゆ	c	a		数珠	じゆず	b	b		陸	りく	b	b
5	鶴	つる	c	a		芯	しん	b	a		礼	れい	a	b
5	鍋	なべ	c	a		砂	すな	b	b		蠟	ろう	b	b
5	鱧	はも	a	b		咳	せき	b	b	1	値	あた	a	a
5	春	はる	c	a		世話	せわ	b	b	1	霰	あられ	b	b
5	蛭	ひる	c	a		膳	ぜん	c	a	1	筏	いかだ	a	a
5	鮒	ふな	c	a		其処	そこ	c	a	1	錨	いかり	a	a
5	蛇	へび	c	a		蕎麦	そば	c	a	1	田舎	いなか	a	a
5	前	まえ	c	a		損	そん	b	b	1	鯛	いわし	a	a
5	窓	まど	c	a		台	だい	c	a	1	嗽	うがい	a	a
5	眉	まゆ	c	a		蛸	たこ	b	b	1	漆	うるし	a	a
5	繭	まゆ	c	a		知恵	ちえ	b	b	1	夫	おと	a	a
5	婿	むこ	c	a		寺	てら	a	a	1	踊り	おどり	a	a
5	腿	もも	c	a		毒	どく	b	b	1	己	おのれ	a	a
	顎	あご	c	a		肉	にく	b	b	1	篝	かがり	a*	NR
	味	あじ	b,c	b		沼	ぬま	b	b	1	飾り	かざり	a	a
	医者	いしゃ	a	a		猫	ねこ	c	a	1	霞	かすみ	a	a
	椅子	いす	a	a		熱	ねつ	b	b	1	形	かたち	a	a
	今	いま	c	a		喉	のど	c	a	1	鯉	かつお	a	a
	上	うえ	a	a		晩	ばん	c	b	1	蕪	かぶら	c	a
	内	うち	b	b		番	ばん	c	a	1	竈	かまど	a	b
	運	うん	c	a		櫃	びつ	a	a	1	河原	かわら	b	a
	縁	えん	c	a		服	ふく	b	b	1	着物	きもの	c	a
	沖	おき	b	a		無事	ぶじ	b	a	1	鎖	くさり	a	a
	奥	おく	b	b		塀	へい	a	a	1	車	くるま	a	a
	恩	おん	c	a		別	べつ	c	a	1	煙	けむり	a	a
	害	がい	a	a		棒	ぼう	a	a	1	子牛	こうし	c	a
	亀	かめ	c	b		骨	ほね	b	b	1	麴	こうじ	a	a
	鳴	かも	b	b		本	ほん	b	b	1	氷	こおり	a	a
	客	きやく	a	a		溝	みぞ	a	a	1	今年	ことし	a	a
	曲	きよく	a	a		百舌	もず	b	b	1	子供	こども	a	a

* 使用は稀。

資料編 (3 拍名詞続き)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
1	小鳥	ことり	c	a	1	涎	よだれ	a	a	4	白髪	しらが	c	a
1	衣	ころも	a	a	1	鎧	よろい	a	a	4	硯	すずり	a	b
1	魚	さかな	a	a	2	小豆	あずき	a	a	4	住い	すまい	a	a
1	桜	さくら	a	a	2	女	おんな	a	a	4	棲処	すみか	a	a
1	悟り	さとり	a	a	2	東	ひがし	a	a	4	宝	たから	a	a
1	舅	しゅうと	c	a	2	二重	ふたえ	c	a	4	谷間	たにま	a	a
1	障子	しょうじ	a	a	2	二つ	ふたつ	a	a	4	袂	たもと	b	a
1	印	しるし	a	a	2	二人	ふたり	c	a	4	俵	たわら	a	a
1	仕業	しわざ	a	a	2	三つ	みつ	b	b	4	唾	つばき	b	a
1	相撲	すもう	b	a	2	娘	むすめ	a	a	4	劍	つるぎ	a	a
1	薪	たきぎ	a	a	2	六つ	むつつ	b	-	4	峠	とうげ	a	a
1	畳	たたみ	a	a	2	八つ	やつつ	b	b	4	渚	なぎさ	a	a
1	粽	ちまき	a	a	2	夕べ	ゆうべ	c	a	4	七日	なのか	a	a
1	序で	ついで	a	a	2	四つ	よつつ	b	b	4	鯰	なまず	a	a
1	机	つくえ	a	a	3	黄金	こがね	b	b	4	縫目	ぬいめ	a	a
1	隣	となり	a	b	3	小麦	こむぎ	b	a	4	袴	はかま	a	a
1	名前	なまえ	a	a	3	榮螺	さざえ	b	b	4	鉢	はさみ	c	a
1	膠	にかわ	a	a	3	力	ちから	b	b	4	林	はやし	a	a
1	寝言	ねごと	a	a	3	20歳	はたち	b	b	4	光	ひかり	a	a
1	望み	のぞみ	a	a	3	岬	みさき	a	a	4	袋	ふくろ	a	a
1	20日	はつか	a	a	4	明日	あした	b	b	4	襖	ふすま	a	a
1	鼻血	はなぢ	a	a	4	頭	あたま	a	a	4	仏	ほとけ	c	a
1	庇	ひさし	a	a	4	馳	いたち	a	a	4	筵	むしろ	a	a
1	額	ひたい	a	a	4	軍	いくさ	a	a	4	別れ	わかれ	b	a
1	棺	ひつぎ	a	a	4	五日	いつか	a	a	5	朝日	あさひ	b	a
1	羊	ひつじ	a	a	4	暇	いとま	a	a	5	油	あぶら	c	b
1	日照	ひでり	a	a	4	潮	うしお	c*	a	5	主	あるじ	a	a
1	二日	ふつか	a	a	4	鶉	うずら	b	b	5	鮑	あわび	b	b
1	埃	ほこり	a	a	4	団扇	うちわ	a	a	5	哀れ	あわれ	b,a	a
1	味方	みかた	a	a	4	項	うなじ	a	a	5	五つ	いつつ	b	b
1	囊	みぞれ	a,c	a	4	扇	おうぎ	a	a	5	従兄	いとこ	b	b
1	三日	みっか	a	a	4	男	おとこ	a	a	5	命	いのち	b	b
1	港	みなと	a	a	4	表	おもて	a	a	5	親子	おやこ	c	a
1	都	みやこ	a	a	4	鏡	かがみ	a	a	5	神楽	かぐら	b,a	b
1	六日	むいか	a	a	4	頭	かしら	a	a	5	鯿	かれい	b	b
1	昔	むかし	c	a	4	刀	かたな	a	a	5	胡瓜	きゅうり	b	b
1	息子	むすこ	a	a	4	鉦	かんな	a	a	5	心	こころ	b	b
1	櫓	やぐら	a	a	4	昨日	きのう	b	b	5	柘榴	ざくろ	b	b
1	柳	やなぎ	b	b	4	言葉	ことば	a	a	5	姿	すがた	b	a
1	寡	やもめ	c	a	4	曆	こよみ	a	a	5	簾	すだれ	a	a
1	八日	ようか	a	a	4	境	さかい	a	a	5	襷	たすき	b	b

* 使用は稀。

資料編 (3 拍名詞続き)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
5	情け	なさけ	a	a	7	鯨	くじら	c	a		今夜	こんや	a	a
5	茄子	なすび	c	a	7	葉	くすり	c	a		最後	さいご	a	a
5	涙	なみだ	b	b	7	卵	たまご	c	a		座敷	ざしき	b	b
5	錦	にしき	c	b	7	便り	たより	c	a		砂糖	さとう	b	b
5	柱	はしら	b	b	7	盥	たらい	c	a		蛹	さなぎ	b	b
5	単衣	ひとえ	b	a	7	千鳥	ちどり	c	a		自信	じしん	b	a
5	火箸	ひばし	b	a	7	椿	つばき	b	b		地震	じしん	a	a
5	箒	ほうき	b	b	7	鉛	なまり	c	a		滴	しずく	a	a
5	枕	まくら	b	b	7	畑	はたけ	c	a		上手	じょうず	a	a
5	眼	まなこ	a	a	7	一つ	ひとつ	c	a		菖蒲	しょうぶ	a	a
5	紅葉	もみじ	b	b	7	一人	ひとり	c	a		勝負	しょうぶ	a	a
5	山葵	わさび	b	b	7	緑	みどり	a	a		真珠	しんじゅ	a	a
6	菖蒲	あやめ	c	a	7	病	やまい	c	a		西瓜	すいか	a	a
6	兎	うさぎ	c	a		合図	あいず	a	a		堇	すみれ	c	a
6	鰻	うなぎ	c	a		愛想	あいそ	a	a		世間	せけん	b	b
6	大人	おとな	c	a		間	あいだ	a	a		狸	たぬき	b	b
6	蛙	かえる	c	a		相手	あいて	a	a		旦那	だんな	c	a
6	鷗	かもめ	c	b		欠伸	あくび	c	a		調子	ちょうし	c	a
6	狐	きつね	c	a		悪夢	あくむ	a	a		都合	つごう	b	a
6	虱	しらみ	c	a		木通	あけび	b	a		躑躅	つつじ	b	b
6	芒	すすき	c	a		嵐	あらし	a	a		蕾	つぼみ	a	b
6	雀	すずめ	c	a		意見	いけん	a	a		道具	どうぐ	a	a
6	李	すもも	c	a		泉	いずみ	a	a		冬至	とうじ	c	a
6	背中	せなか	c	a		餛飩	うどん	a	a		豆腐	とうふ	a	a
6	高さ	たかさ	a	a		縁起	えんぎ	c	a		蜥蜴	とかげ	c	a
6	団子	だんご	c	a		覚悟	かくご	a	a		所	ところ	a	a
6	田圃	たんぼ	c	a		蔓	かずら	b	a		扉	とびら	a	a
6	燕	つばめ	c	b		勝手	かって	a	a		蜻蛉	とんぼ	b	b
6	長さ	ながさ	a	a		合点	がてん	a	a		仲間	なかま	b	b
6	鼠	ねずみ	c	a		鳥	からす	c	a		鯨	にしん	a	a
6	裸	はだか	c	a		体	からだ	c	a		荷物	にもつ	c	a
6	裸足	はだし	c	a		瓦	かわら	b	b		野原	のほら	c	a
6	左	ひだり	c	a		感謝	かんしゃ	a	a		暖簾	のれん	c	a
6	雲雀	ひばり	c	a		気分	きぶん	b	b		話	はなし	a	a
6	蚯蚓	みみず	c	a		去年	きょねん	b	b		花火	はなび	b	b
6	蓬	よもぎ	c	a		供養	くよう	a	b		彼岸	ひがん	a	a
7	莓	いちご	c	b		苦勞	くろう	b	b		日向	ひなた	b	b
7	後ろ	うしろ	c	a		喧嘩	けんか	a	a		秘密	ひみつ	a	a
7	蚕	かいこ	c	a		梢	こずえ	c	a		葡萄	ぶどう	c	a
7	兜	かぶと	a	a		午前	ごぜん	c,a	a		麓	ふもと	a	a
7	辛子	からし	c	a		炬燵	こたつ	c	a		螢	ほたる	b	b

資料編 (3 拍名詞続き・4 拍名詞)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
	炎	ほのお	b	a		生き物	いきもの	a	b
	祭り	まつり	a	a		悪戯	いたずら	c	a
	臉	まぶた	c	a		無花果	いちじく	b	b
	蜜柑	みかん	b	b		井戸水	いどみず	a	a
	御輿	みこし	a	a		戌年	いぬどし	b	b
	南	みなみ	a	a		稲刈り	いねかり	b	b
	茗荷	みょうが	c	a		猪	いのしし	a	a
	名字	みょうじ	a	a		妹	いもうと	a	a
	百足	むかで	c	a		芋虫	いもむし	b	b
	女 (方言形)	めーろ	c	a		入口	いりぐち	c	a
	眼鏡	めがね	c	b		色紙	いろがみ	b	a
	盲	めくら	a	a		岩山	いわやま	a	a
	火傷	やけど	c	a		鶯	うぐいす	b	a
	野菜	やさい	c	a		丑年	うしどし	a	a
	屋敷	やしき	a	a		渦巻き	うずまき	b	b
	社	やしろ	a	a		歌声	うたごえ	a	a
	浴衣	ゆかた	b	b		腕前	うでまえ	c	b
	油断	ゆだん	c	a		午年	うまどし	b	b
	楊枝	ようじ	c	a		裏口	うらぐち	b	b
	用事	ようじ	a	a		裏庭	うらにわ	c	a
	林檎	りんご	c	a		絵心	えごころ	b	b
	蓮華 (花)	れんげ	c	a		枝豆	えだまめ	c	a
	草鞋	わらじ	a	a		絵葉書	えはがき	b	a
	蕨	わらび	a	a		大雨	おおあめ	b	a
	藍色	あいいろ	c	a		狼	おおかみ	b	a
	青空	あおぞら	a	b		弟	おとうと	a	a
	赤紙	あかがみ	b	b		一昨日	おとつい	b	b
	秋風	あきかぜ	b	b		一昨年	おととし	a	a
	朝顔	あさがお	b	b		親指	おやゆび	c	a
	明後日	あさって	b	b		貝殻	かいがら	c	b
	朝飯	あさめし	b	b		顔色	かおいろ	a	a
	足跡	あしあと	a	a		陰口	かげぐち	b	a
	足首	あしくび	a	a		風邪声	かぜごえ	c	a
	雨傘	あまがさ	b	b		型紙	かたがみ	b	b
	甘栗	あまぐり	c	b		金網	かなあみ	a	a
	甘酒	あまざけ	c	a		金槌	かなづち	c	a
	雨粒	あまつぶ	a	a		金持ち	かねもち	a	b
	雨水	あまみず	b	a		壁紙	かべがみ	a	a
	網棚	あみだな	a	a		蟻螂	かまきり	b	a
	飴玉	あめだま	b	b		神様	かみさま	b	b
	案内	あんない	a	a		剃刀	かみそり	c	a
	息の根	いきのね	b	a		神棚	かみだな	a	b

資料編 (4 拍名詞続き)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
	雷	かみなり	a	a		筍	たけのこ	b	b
	髪の毛	かみのけ	a	a		辰年	たつどし	c	a
	棺桶	かんおけ	a	a		縦糸	たていと	c	a
	簪	かんざし	b	b		谷底	たにぞこ	a	a
	神主	かみぬし	b	b		楽しみ	たのしみ	a	a
	傷口	きずぐち	a	a		食べ物	たべもの	a	b
	絹糸	きぬいと	c	b		魂	たましい	a	a
	木登り	きのぼり	b	b		蒲公英	たんぽぽ	b	b
	霧雨	きりさめ	a	a		一日	ついたち	a	a
	草刈り	くさかり	b	b		爪先	つまさき	a,b	a
	草花	くさばな	a	a		出鱈目	でたらめ	a	a
	草笛	くさぶえ	b	a		手伝い	てつだい	b	b
	楠	くすのき	b	a		掌	てのひら	b	a
	嘴	くちばし	c	a		手袋	てぶくろ	b	b
	唇	くちびる	c	a		手土産	てみやげ	b	b
	口笛	くちぶえ	c	a		天井	てんじょう	c	a
	口紅	くちべに	c	a		天ぷら	てんぷら	c	a
	紅	くれない	b	a		毒蛇	どくへび	b	b
	黒豆	くろまめ	c	b		戸締り	とじまり	a	b
	毛嫌い	けぎらい	a	a		年寄り	としより	a	a
	下駄箱	げたばこ	c	a		戸袋	とぶくろ	b	b
	公園	こうえん	b	b		灯火	ともしび	b	a
	蝙蝠	こうもり	b	b		友達	ともだち	c	a
	粉薬	こぐすり	NR	b		寅年	とらどし	a	a
	黒板	こくばん	b	b		酉年	とりどし	a	a
	九つ	ここのつ	b	b		鳥肌	とりはだ	a	a
	小遣い	こづかい	b	a		長生き	ながいき	a	a
	子育て	こそだて	a	a		中指	なかゆび	b	a
	盃	さかずき	a	a		夏風邪	なつかぜ	c	a
	坂道	さかみち	b	a		撫子	なでしこ	b	b
	座布団	ざぶとん	b	b		女房	にようぼう	a	a
	申年	さるどし	c	a		鶏	にわとり	c	a
	椎茸	しいたけ	b	b		鋸	のこぎり	c	a
	塩水	しおみず	c	a		葉桜	はざくら	b	b
	商売	しょうばい	b	b		鼻歌	はなうた	a	b
	素人	しろうと	b	b		花びら	はなびら	b	b
	心配	しんぱい	a	b		鼻水	はなみず	a	a
	筋道	すじみち	c	a		花婿	はなむこ	b	b
	先生	せんせい	b	b		蛤	はまぐり	b	b
	薇	ぜんまい	a	b		針金	はりかね	b	b
	空豆	そらまめ	c	b		春雨	はるさめ	b	b
	大根	だいこん	b	b		日当たり	ひあたり	a	a

資料編 (4 拍名詞続き・5 拍名詞 (北潟方言のみ))

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北
	火の玉	ひのたま	b	b		頭数	あたまかず	c
	瓢箪	ひょうたん	c	a		脂汗	あぶらあせ	b
	昼飯	ひるめし	c	b		油紙	あぶらがみ	b
	筆箱	ふでばこ	b	a		油蟬	あぶらぜみ	b
	懐	ふところ	b	b		油虫	あぶらむし	b
	鮒鮓	ふなずし	c	b		雨蛙	あまがえる	c
	故郷	ふるさと	a	a		雨宿り	あまやどり	b
	風呂敷	ふろしき	b	a		雨男	あめおとこ	c
	蛇年	へびどし	c	a		石頭	いしあたま	b
	包丁	ほうちょう	c	a		石畳	いしだたみ	b
	干し芋	ほしいも	b	a		糸車	いとぐるま	c
	干し柿	ほしがき	c	a		糸蚯蚓	いとみみず	c
	星空	ほしぞら	a	a		稲光	いなびかり	b
	瞬き	まばたき	a	a		色男	いろおとこ	b
	松虫	まつむし	c	a		色眼鏡	いろめがね	b
	窓口	まどぐち	-	b		縹雲	いわしぐも	c
	俎板	まないた	c	b		兎年	うさぎどし	c
	幻	まぼろし	b	a		後ろ足	うしろあし	b
	右足	みぎあし	b	a		裏表	うらおもて	b
	右肩	みぎかた	b	b		裏話	うらばなし	b
	右膝	みぎひざ	a	b		閏年	うるうどし	a
	水飴	みずあめ	c	a		扇形	おうぎがた	a
	水色	みずいろ	c	b		親心	おやごころ	a
	湖	みずうみ	c	a		貝柱	かいばしら	a
	水虫	みずむし	a,c	a		鏡餅	かがみもち	a
	味噌汁	みそじる	c	b		風車	かざぐるま	c
	虫籠	むしかご	a	b		風邪薬	かぜぐすり	a,c
	胸元	むなもと	a	a		肩代り	かたがわり	b
	紫	むらさき	c	b		肩叩き	かたたたき	b
	目薬	めぐすり	c	b		金盥	かなだら	b
	目印	めじるし	b	b		甲虫	かぶとむし	a,c
	物音	ものおと	a	a		紙芝居	かみしばい	b
	物差し	ものさし	c	a		神頼み	かみだのみ	a,c
	山犬	やまいぬ	c	a		紙袋	かみぶくろ	b
	山猿	やまざる	c	b		烏麦	からすむぎ	b
	夕方	ゆうがた	b	b		川魚	かわざかな	c
	夕焼け	ゆうやけ	b	a		黍団子	きびだんご	a
	雪山	ゆきやま	a	a		葉指	くすりゆび	c
	夜遊び	よあそび	b	b		国境	くにざかい	a
	間柄	あいだがら	c			車椅子	くるまいす	c
	赤蜻蛉	あかとんぼ	c			黒砂糖	くろざとう	c
	秋祭り	あきまつり	b			桑畑	くわばたけ	b

資料編 (5 拍名詞続き)

類	語彙	読み	北	類	語彙	読み	北
	恋心	こいごころ	c		鼠年	ねずみどし	c
	鯉幟	こいのぼり	c		喉仏	のどぼとけ	c
	氷水	こおりみず	c		鼻嗽	はなうがい	a
	志	こころざし	a		花言葉	はなことば	b
	粉菓	こなぐすり	c		話し声	はなしごえ	c
	小麦色	こむぎいろ	b		花畑	はなばたけ	b
	米俵	こめだわら	b		針仕事	はりしごと	a
	魚釣り	さかなつり	b		春霞	はるがすみ	a
	桜色	さくらいろ	b		春休み	はるやすみ	c
	桜餅	さくらもち	a		晴れ男	はれおとこ	a
	薩摩芋	さつまいも	b		火打石	ひうちいし	c
	砂糖黍	さとうきび	b		東風	ひがしかぜ	b
	猿轡	さるぐつわ	c		彼岸花	ひがんばんな	a
	白兔	しろうさぎ	c		膝枕	ひざまくら	c
	雀蜂	すずめばち	c		左足	ひだりあし	b
	炭俵	すみだわら	b		左肩	ひだりかた	b
	背比べ	せいくらべ	a		左膝	ひだりひざ	b
	底力	そちから	a		左前	ひだりまえ	b
	台所	だいどころ	b		未年	ひつじどし	a
	宝箱	たからばこ	a		独り言	ひとりごと	a
	宝船	たからぶね	c		一人旅	ひとりたび	a
	竹林	たけばやし	a		昼休み	ひるやすみ	c
	竹箒	たけぼうき	c		冬休み	ふゆやすみ	c
	狸汁	たぬきじる	b		蛍烏賊	ほたるいか	b
	種油	たねあぶら	c		不如帰	ほととぎす	b
	卵酒	たまござけ	b		枕元	まくらもと	c
	卵焼き	たまごやき	b		孫娘	まごむすめ	b
	千歳飴	ちとせあめ	a		松林	まつばやし	c
	千鳥足	ちどりあし	a		右左	みぎひだり	a
	作り方	つくりかた	b		水枕	みずまくら	b
	土煙	つちけむり	b		緑色	みどりいろ	a,b
	年男	としおとこ	b		南風	みなみかぜ	b
	隣村	となりむら	a,c		麦畑	むぎばたけ	c
	流れ星	ながれぼし	a		虫眼鏡	むしめがね	c
	夏祭り	なつまつり	b		娘婿	むすめむこ	a
	夏蜜柑	なつみかん	c		物語	ものがたり	a
	涙声	なみだごえ	a		山桜	やまざくら	b
	錦鯉	にしきごい	b		雪兔	ゆきうさぎ	a,b
	錦蛇	にしきへび	b		雪下ろし	ゆきおろし	c
	俄雨	にわかあめ	c		指相撲	ゆびずもう	c
	願い事	ねがいごと	c				
	鼠色	ねずみいろ	b				

資料編 (2 拍動詞) x-y : 終止形 = x, 夕形 = y

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
1	居る	いる	a	a	1	鳴る	なる	a-b	a-b	2	裂く	さく	c-c	a-a
1	着る	きる	a	a	1	抜く	ぬく	a-b	a-b	2	刺す	さす	c-c	a-a
1	為る	する	a	a	1	塗る	ぬる	a-b	a-b	2	住む	すむ	c-c	a-a
1	煮る	にる	a	a	1	乗る	のる	a-b	a-b	2	磨る	する	c-c	a-a
1	寝る	ねる	a	a	1	履く	はく	a-b	a-b	2	剃る	そる	c-c	a-a
2	得る	える	a	a	1	貼る	はる	a-b	a-b	2	立つ	たつ	c-c	a-a
2	来る	くる	c	a	1	引く	ひく	a-b	a-b	2	着く	つく	c-c	-
2	出る	でる	c	a	1	拭く	ふく	a-b	a-b	2	照る	てる	a-b	a-b
2	経る	へる	c	a	1	踏む	ふむ	a-b	a-b	2	解く	とく	c-c	a-a
2	見る	みる	c	a	1	振る	ふる	a-b	a-b	2	研ぐ	とぐ	c-c	a-a
1	言う	いう	a-b	a-b	1	舞う	まう	a-b	a-b	2	取る	とる	c-c	a-a
1	行く	いく	a-b	a-b	1	巻く	まく	a-b	a-b	2	縋う	なう	c-c	a-a
1	産む	うむ	a-b	a-b	1	増す	ます	a-b	a-a	2	成る	なる	c-c	a-a
1	売る	うる	a-b	a-b	1	剥く	むく	a-b	a-b	2	縫う	ぬう	c-c	a-a
1	置く	おく	a-b	a-b	1	揉む	もむ	a-b	a-a	2	脱ぐ	ぬぐ	c-c	a-a
1	押す	おす	a-b	a-b	1	盛る	もる	a-b	a-a	2	練る	ねる	c-c	a-a
1	追う	おう	c-c	a-a	1	焼く	やく	a-b	a-b	2	飲む	のむ	c-c	a-a
1	織る	おる	a-b	a-a	1	止む	やむ	a-b	a-b	2	吐く	はく	c-c	a-a
1	買う	かう	a-b	a-b	1	遣る	やる	a-b	a-b	2	剥ぐ	はぐ	c-c	a-a
1	嗅ぐ	かぐ	a-b	a-a	1	結う	ゆう	a-b	a-b	2	這う	ほう	c-c	a-a
1	貸す	かす	a-b	a-b	1	呼ぶ	よぶ	a-b	a-b	2	吹く	ふく	c-c	a-a
1	刈る	かる	a-b	a-b	1	寄る	よる	a-b	a-b	2	伏す	ふす	c-c	a-a
1	聞く	きく	a-b	a-b	1	湧く	わく	a-b	a-b	2	降る	ふる	c-c	a-a
1	汲む	くむ	a-b	a-b	1	割る	わる	a-b	a-b	2	干す	ほす	c-c	a-a
1	消す	けす	a-b	a-b	2	合う	あう	c-c	a-a	2	掘る	ほる	c-c	a-a
1	咲く	さく	a-b	a-a	2	飽く	あく	c-c	a-a	2	蒔く	まく	a-b	a-a
1	敷く	しく	a-b	a-b	2	編む	あむ	c-c	a-a	2	待つ	まつ	c-c	a-a
1	死ぬ	しぬ	a-b	a-b	2	在る	ある	c-c	a-a	2	蒸す	むす	c-c	a-a
1	知る	しる	a-b	a-b	2	打つ	うつ	c-c	a-a	2	持つ	もつ	c-c	a-a
1	吸う	すう	a-b	a-b	2	膿む	うむ	c-c	a-a	2	病む	やむ	c-c	a-a
1	焚く	たく	a-b	a-b	2	折る	おる	c-c	a-a	2	酔う	よう	c-c	a-a
1	足す	たす	a-b	-	2	飼う	かう	c-c	-	2	読む	よむ	c-c	a-a
1	散る	ちる	a-b	a-a	2	書く	かく	c-c	a-a					
1	突く	つく	a-b	a-a	2	勝つ	かつ	c-c	a-a					
1	継ぐ	つぐ	a-b	a-b	2	嘔む	かむ	c-c	a-a					
1	積む	つむ	a-b	a-b	2	切る	きる	c-c	a-a					
1	摘む	つむ	a-b	-	2	喰う	くう	c-c	a-a					
1	釣る	つる	a-b	a-b	2	組む	くむ	c-c	a-b					
1	問う	とう	a-b	-	2	乞う	こう	c-c	a-a					
1	飛ぶ	とぶ	a-b	a-b	2	漕ぐ	こぐ	c-c	a-b					
1	泣く	なく	a-b	a-b	2	混む	こむ	c-c	a-a					

資料編 (3拍動詞)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
1	明ける	あける	a	a	2	兼ねる	かねる	b	-
1	上げる	あげる	a	a	2	悔いる	くいる	b	-
1	当てる	あてる	a	a	2	肥える	こえる	b	b
1	荒れる	あれる	a	a	2	込める	こめる	b	-
1	入れる	いれる	a	a	2	覚める	さめる	b	-
1	植える	うえる	a	a	2	冴える	さえる	b	-
1	埋める	うめる	a	b	2	強いる	しいる	b	-
1	終える	おえる	a	-	2	閉める	しめる	b	-
1	替える	かえる	a	a	2	過ぎる	すぎる	b	b
1	欠ける	かける	a	a	2	攻める	せめる	b	-
1	枯れる	かれる	a	a	2	耐える	たえる	b	-
1	消える	きえる	a	a	2	立てる	たてる	b	b
1	着せる	きせる	a	-	2	垂れる	たれる	b	-
1	呉れる	くれる	a	-	2	詰める	つめる	b	-
1	越える	こえる	a	-	2	解ける	とける	b	b
1	据える	すえる	a	-	2	閉じる	とじる	b	-
1	捨てる	すてる	a	a	2	投げる	なげる	b	b
1	添える	そえる	b	-	2	撫でる	なでる	b	-
1	染める	そめる	a	a	2	舐める	なめる	b	b
1	尽きる	つきる	b	-	2	馴れる	なれる	b	-
1	告げる	つげる	a	-	2	逃げる	にげる	b	b
1	抜ける	ぬける	a	a	2	伸びる	のびる	b	b
1	濡れる	ぬれる	a	a	2	化ける	ばける	b	-
1	乗せる	のせる	a	-	2	果てる	はてる	a	-
1	負ける	まける	a	-	2	跳ねる	はねる	b	-
1	曲げる	まげる	a	a	2	晴れる	はれる	b,a	-
1	噎せる	むせる	a	b	2	吠える	ほえる	b	b
1	燃える	もえる	a	a	2	呆ける	ぼける	b	-
1	痩せる	やせる	a	a	2	誉める	ほめる	b	-
1	止める	やめる	a	a	2	見える	みえる	b	a
1	寄せる	よせる	b	a	2	見せる	みせる	b	-
2	和える	あえる	b	-	2	漏れる	もれる	a	b
2	生きる	いきる	b	-	2	茹でる	ゆでる	b	-
2	飢える	うえる	b	b	2	分ける	わける	b	-
2	受ける	うける	b	-		折れる	おれる	b	b
2	老いる	おいる	b	b		切れる	きれる	b	-
2	起きる	おきる	b	b		食べる	たべる	a	b
2	落ちる	おちる	b	b		付ける	つける	b	b
2	帯びる	おびる	b	-		生える	はえる	b	b
2	下りる	おりる	b	b		焼ける	やける	a	a
2	掛ける	かける	b	b		割れる	われる	a	a

資料編 (3 拍動詞続き)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
1	上がる	あがる	a	a	1	散らす	ちらす	a	a
1	遊ぶ	あそぶ	c	a	1	使う	つかう	b	b
1	当たる	あたる	a	a	1	尽くす	つくす	b	b
1	洗う	あらう	b	b	1	続く	つづく	a	a
1	浮かぶ	うかぶ	a	b	1	繋ぐ	つなぐ	a	a
1	歌う	うたう	b	b	1	積もる	つもる	b	a
1	送る	おくる	a	a	1	飛ばす	とばす	a	a
1	威す	おどす	a	a	1	鳴らす	ならす	a	a
1	及ぶ	およぶ	b	b	1	並ぶ	ならぶ	a,b	a
1	踊る	おどる	a	a	1	握る	にぎる	a	b
1	終わる	おわる	a	a	1	濡らす	ぬらす	a	a
1	香る	かおる	b	a	1	眠る	ねむる	a	a
1	屈む	かがむ	a	a	1	覗く	のぞく	-	a
1	囲む	かこむ	b	b	1	望む	のぞむ	b	b
1	飾る	かざる	a	b	1	昇る	のぼる	a	a
1	語る	かたる	a	b	1	運ぶ	はこぶ	b	b
1	枯らす	からす	a,b	b	1	外す	はずす	a	a
1	変わる	かわる	a	a	1	拾う	ひろう	b	b
1	刻む	きざむ	b	a	1	塞ぐ	ふさぐ	a	a
1	嫌う	きらう	b	b	1	振う	ふるう	b	b
1	括る	くくる	a	a	1	誇る	ほこる	a	a
1	下る	くだる	a	a	1	曲がる	まがる	a	a
1	窪む	くぼむ	a	a	1	勝る	まさる	a	a
1	暮らす	くらす	a	a	1	学ぶ	まなぶ	b	b
1	削る	けずる	a	a	1	磨く	みがく	b	b
1	殺す	ころす	a	a	1	向かう	むかう	b	b
1	捜す	さがす	a	a	1	筆る	むしる	a	a
1	悟る	さとる	b	b	1	結ぶ	むすぶ	a	a,b
1	触る	さわる	a	a	1	巡る	めぐる	a	a
1	晒す	さらす	b	b	1	貰う	もらう	b	b
1	沈む	しずむ	a	a	1	歪む	ゆがむ	b	b
1	慕う	したう	b	b	1	揺する	ゆする	a	a
1	印す	しるす	a	a	1	譲る	ゆずる	b	-
1	掬う	すくう	b	b	1	沸かす	わかす	a	a
1	竦む	すくむ	a	a	1	渡す	わたす	a	b
1	漱ぐ	すすぐ	a	a	1	渡る	わたる	a	b
1	進む	すすむ	b	b	1	笑う	わらう	a	a
1	啜る	すする	b	a	2	扇ぐ	あおぐ	b	b
1	畳む	たたむ	b	a	2	余る	あまる	b	b
1	誓う	ちかう	b	b	2	歩む	あゆむ	b	b
1	違う	ちがう	b	b	2	急ぐ	いそぐ	b	b

資料編 (3 拍動詞続き)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
2	痛む	いたむ	b	b	2	縛る	しばる	a	a
2	挑む	いどむ	b	a	2	絞る	しぼる	b	b
2	祈る	いのる	b	b	2	過ごす	すごす	b	b
2	祝う	いわう	b	b	2	済ます	すます	b	b
2	動く	うごく	b	b	2	滑る	すべる	b	b
2	移る	うつる	b	b	2	迫る	せまる	b	b
2	奪う	うばう	b	b	2	育つ	そだつ	b	b
2	恨む	うらむ	b	b	2	倒す	たおす	c	a
2	潤む	うるむ	b	b	2	叩く	たたく	b	b
2	選ぶ	えらぶ	b	a	2	正す	ただす	a	a
2	拝む	おがむ	b	b	2	頼む	たのむ	b	b
2	起こす	おこす	b	b	2	掴む	つかむ	b	b
2	起こる	おこる	NR	b	2	作る	つくる	b	b
2	惜しむ	おしむ	b	b	2	包む	つつむ	b	b
2	落とす	おとす	b	b	2	集う	つどう	b	a
2	思う	おもう	b	b	2	募る	つものる	b	a
2	泳ぐ	およぐ	b	b	2	紡ぐ	つむぐ	b	b
2	下ろす	おろす	a	b	2	通る	とおる	b	b
2	帰る	かえる	b	b	2	尖る	とがる	b	a
2	懸る	かかる	b	b	2	届く	とどく	b	b
2	限る	かぎる	b	b	2	直す	なおす	b	b
2	稼ぐ	かせぐ	b	a	2	直る	なおる	b	b
2	担ぐ	かつぐ	b	b	2	流す	ながす	b	b
2	叶う	かなう	b	b	2	嘆く	なげく	b	b
2	被る	かぶる	b	b	2	懐く	なつく	b	b
2	構う	かまう	b	b	2	靡く	なびく	b	b
2	絡む	からむ	b	a	2	蹴る	なぶる	b	b
2	乾く	かわく	b	b	2	悩む	なやむ	b	b
2	競う	きそう	b	b	2	習う	ならう	b	b
2	潜る	くぐる	b	b	2	憎む	にくむ	b	b
2	挫く	くじく	b	-	2	担う	になう	b	b
2	崩す	くずす	c	b,a	2	匂う	におう	b	b
2	砕く	くだく	c	b,a	2	濁る	にごる	b	b
2	曇る	くもる	b	b	2	睨む	にらむ	b	b
2	狂う	くるう	b	b	2	拭う	ぬぐう	b	b
2	好む	このむ	b	b	2	盗む	ぬすむ	b	b
2	溢す	こぼす	b	a	2	願う	ねがう	b	b
2	籠る	こもる	b	b	2	嫉む	ねたむ	b	b
2	下がる	さがる	b	b	2	遺す	のこす	b	b
2	騒ぐ	さわぐ	b	b	2	残る	のこる	b	b
2	凌ぐ	しのぐ	b	b	2	伸ばす	のばす	b	b

資料編 (3 拍動詞続き・4 拍動詞)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
2	量る	はかる	b	b		潜る	もぐる	a	b
2	励む	はげむ	b	a	1	与える	あたえる	a	b
2	挟む	はさむ	b	a	1	溢れる	あふれる	b	a
2	弾く	はじく	b	b	1	慌てる	あわてる	a	a
2	走る	はしる	b	b	1	生まれる	うまれる	a	a
2	果す	はたす	a	a	1	教える	おしえる	a	a
2	放つ	はなつ	b	b	1	重ねる	かさねる	a	a
2	払う	ならう	b	b	1	固める	かためる	a	b
2	孕む	はらむ	b	a	1	聞こえる	きこえる	a,b	a
2	光る	ひかる	b	b	1	比べる	くらべる	b	b
2	浸す	ひたす	b	b	1	伝える	つたえる	b,a	b
2	捻る	ひねる	b	b	1	並べる	ならべる	a	a
2	響く	ひびく	b	b	1	始める	はじめる	b	b
2	開く	ひらく	b	b	1	外れる	はずれる	a	a
2	怯む	ひるむ	b	b	1	広げる	ひろげる	a	a
2	含む	ふくむ	a	b	1	纏める	まとめる	b	b
2	防ぐ	ふせぐ	b	b	1	迎える	むかえる	a	a
2	交る	まじる	b	b	1	忘れる	わすれる	c	a
2	招く	まねく	b	b	2	集める	あつめる	b	b
2	守る	まもる	b	a	2	合わせる	あわせる	a	b
2	迷う	まよう	b	a	2	覚える	おぼえる	b,a	b
2	恵む	めぐむ	b	a	2	数える	かぞえる	b	b
2	申す	もうす	b	a	2	叶える	かなえる	b	b
2	戻る	もどる	b	b	2	奏でる	かなでる	a	a
2	漏らす	もらす	a	b	2	被せる	かぶせる	b	b
2	休む	やすむ	b	b	2	構える	かまえる	a	a
2	雇う	やとう	b	b	2	崩れる	くずれる	b	a
2	宿る	やどる	b	b	2	零れる	こぼれる	c	a
2	破る	やぶる	c	a	2	調べる	しらべる	b	b
2	許す	ゆるす	b	a	2	倒れる	たおれる	b	a
2	弛む	ゆるむ	b	b	2	助ける	たすける	a	b
3	歩く	あるく	c	a	2	訪ねる	たずねる	a	a
3	隠す	かくす	c	a	2	束ねる	たばねる	c	a
3	入る	はいる	c	a	2	疲れる	つかれる	a	a
3	参る	まいる	c	a	2	流れる	ながれる	c	b
	刺さる	ささる	b	b	2	宥める	なだめる	b	b
	閉る	しまる	b	b	2	離れる	はなれる	b	b
	潰す	つぶす	c	a	2	乱れる	みだれる	c	b
	止まる	とまる	a	a	2	求める	もとめる	a	a
	回す	まわす	a	a	2	破れる	やぶれる	a	a
	回る	まわる	a	a	2	汚れる	よごれる	c	a

資料編 (4 拍動詞続き・2,3 拍形容詞)

類	語彙	読み	北	清	類	語彙	読み	北	清
3	抱える	かかえる	c	a	2	近い	ちかい	b	b
3	隠れる	かくれる	c	a	2	強い	つよい	b	a
3	支える	ささえる	c	b	2	長い	ながい	b	b
3	捧げる	ささげる	c	b	2	苦い	にがい	b	b
3	捕らえる	とらえる	b	b	2	鈍い	にぶい	b	b
	栄える	さかえる	a	b	2	早い	はやい	b	b
	潰れる	つぶれる	c	a	2	低い	ひくい	b	b
	解れる	ほつれる	a	b	2	広い	ひろい	b	b
	濃い	こい	b-c	a-a	2	深い	ふかい	b	b
	酸い	すい	b-c	-	2	古い	ふるい	b	b
	無い	ない	c-b	a-b	2	欲しい	ほしい	b	b
1	赤い	あかい	b	a	2	細い	ほそい	b	b
1	浅い	あさい	b	a	2	脆い	もろい	b	b
1	厚い	あつい	a	a	2	安い	やすい	b	b
1	甘い	あまい	b	a	2	緩い	ゆるい	b	b
1	荒い	あらい	b	a	2	若い	わかい	b	b
1	薄い	うすい	b	a	2	悪い	わるい	b	b
1	遅い	おそい	b	a		弱い	よわい	b	b
1	重い	おもい	a	a					
1	堅い	かたい	a	a					
1	軽い	かるい	b	a					
1	暗い	くらい	b	a					
1	辛い	つらい	a	a					
1	遠い	とおい	b	a					
2	青い	あおい	b	b					
2	熱い	あつい	b	b					
2	淡い	あわい	b	b					
2	痛い	いたい	b	b					
2	旨い	うまい	b	a					
2	多い	おおい	b	b					
2	痒い	かゆい	b	b					
2	辛い	からい	b	b					
2	臭い	くさい	b	b					
2	黒い	くろい	b	b					
2	強い	こわい	-	b					
2	寒い	さむい	b	b					
2	渋い	しぶい	b	b					
2	白い	しろい	b	b					
2	凄い	すごい	b	b					
2	狭い	せまい	b	b					
2	高い	たかい	b	b					

Accent Data of the Kitagata Dialect and the Kiyotaki Dialect in Awara City, Fukui Pref.

MATSUKURA Kohei

Keywords: N-pattern accent, 3-pattern accent, 2-pattern accent, Mikuni-type accent,
Awara dialects, Kitagata dialect, Japanese accent

Abstract

Matsukura (2014) reported that N-pattern accent systems were distributed in almost the whole area of Awara city, Fukui Pref., and showed the outlines of the three kinds of 3-pattern accent systems in the northern part and 2-pattern accent systems, known as “Mikuni type,” widespread in the city, especially in the southern part. In this paper, the author compiles data from a 3-patterned dialect in the northern part and a 2-patterned dialect in the southern part into a list of accent data.

(まつくら・こうへい 東京大学大学院修士課程)